

JHL NEWS

No.3

2002年11月5日(火)

発行
日本ハンドボールリーグ委員会
委員長・川上 憲太
東京都渋谷区神南1-1-1
電話 03-3481-2494

ホンダ、湧永が4連勝！ 女子は広島らが順当勝ち

～第27回日本ハンドボールリーグ第2週～

第27回日本ハンドボールリーグ第2週は男子8、女子2試合が行われた。11月17日までの第1ステージをサークルK・サンクスカップとして行う男子は、ホンダと湧永製薬が4連勝をマークして首位を併走、1敗の大同特殊鋼がこれに続いている。女子はV4を目指す広島メイプルレッズがソニー・セミコンダクタ九州に26-18と順当勝ちして白星発進、オムロンもHC名古屋の追撃を振り切って2勝目をマークした。

男子は開幕2連勝と好スタートを切ったホンダと湧永製薬が地力を発揮。ホンダはストックランの絶妙なパスワークを起点とした多彩な攻撃を駆使してHC東京に32-16と圧勝したあと大崎電気と対戦。この試合、ホンダは前半6分3-3から大崎電気のわずかなミスを速攻につなげて谷口らで3連取、試合の主導権を握った。23-17とホンダリードで迎えた後半20分過ぎ、大崎電気はGK濱口の好守から速攻を繰り出し、秋山、辻らの連取で3点差まで肉薄したが、ホンダは茅場のミドルなどで応戦、クリーチンコの巧みな配球、巧打もあって3点差で逃げ切った。大崎電気は後半8分に通算2位となる713得点をマークした岩本の奮戦も及ばず、首位争いからの後退を余儀なくされた。

湧永製薬はアラコ九州との乱打戦をプラマニス、山口らの活躍で36

-30と制し、トヨタ車体戦も立ち上がりの6連取などでペースをつかんで危なげなく勝利。この試合の後半28分には、ベテラン中山が7mTで通算500得点とした。

女子は女王・広島メイプルレッズが後半4分、史上7人目の400得点を達成した吳の活躍などでソニー・セミコンダクタ九州に付け入るスキを与える26-18と快勝。「ストップ・ザ・広島」に燃えるオムロンはHC名古屋の食い下がりに苦戦を強いられながらも、後半15分過ぎから動きの鈍くなったHC名古屋に対して速攻、ポストなどで加点して逃げ切った。6得点をマークした新人・富田の活躍が光った。

次週も同じく男子8、女子2試合が組まれているが、男子では4連勝の湧永製薬、ホンダに挑む大同特殊鋼の戦いぶりに注目。女子は国体優勝で波に乗る・シャトレーゼが北国銀行と緒戦を迎える。

第3週の日程

(男子の8試合は「サークルK・サンクスカップ」。
女子と2部男子の組み合わせ左側がホームチーム)

[1部]

11月9日(土)山形・東根市民体育館(JR奥羽本線さくらんぼ東根駅徒歩20分) 14:00~(男)トヨタ車体×アラコ九州
15:40~(男)大崎電気×HC東京
富山・富山県総合体育センター(JR北陸本線富山駅バス20分) 12:30~(男)ホンダ×ホンダ熊本
14:00~(男)湧永製薬×大同特殊鋼
広島・中区スポーツセンター(広電広電本社前駅徒歩3分) 14:00~(女)メイプルレッズ×HC名古屋
11月10日(日)山形・東根市民体育館(JR奥羽本線さくらんぼ東根駅徒歩20分) 14:00~(男)大崎電気×アラコ九州
15:40~(男)トヨタ車体×HC東京
石川・小松総合体育館(JR北陸本線小松駅徒歩20分) 16:00~(女)北国銀行×シャトレーゼ
岐阜・飛騨高山ピックアリーナ(JR高山本線高山駅徒歩30分) 13:00~(男)湧永製薬×ホンダ熊本
15:00~(男)ホンダ×大同特殊鋼

[2部]

11月7日(木) 山口・徳山市総合スポーツセンター 16:00~トヨタ自動車×大阪ガス 18:15~トクヤマ×豊田合成 / 11月9日(土) 福井・北陸電力福井体育館フレア 15:00~インテックス21×北陸電力



開幕4連勝を飾ったホンダ(シューターは茅場)

男女1部個人賞レース 第2週終了

《男子》 《女子》

得点王

1 クリチェンコ (ホンダ)	28 点	(4試合)	1 富田 有美 (オムロン)	13 点	(2試合)
2 プラマニス (湧永製薬)	25 点	(4試合)	2 坂元 智子 (オムロン)	8 点	(2試合)
3 植木 宏和 (アラコ九州)	21 点	(4試合)	2 村上 麻美 (北国銀行)	8 点	(1試合)
4 中川 善雄 (大崎電気)	20 点	(4試合)	4 小野澤 香理 (北国銀行)	7 点	(1試合)
4 角谷 裕司 (トヨタ車体)	20 点	(4試合)	4 吳 成玉 (メイブルレッズ)	7 点	(1試合)
4 田中 慎一 (アラコ九州)	20 点	(4試合)	4 劉 晋淑 (オムロン)	7 点	(2試合)
7 朴 性立 (大同特殊鋼)	18 点	(4試合)	4 菅谷 美枝 (HC 名古屋)	7 点	(2試合)
7 クジノフ (ホンダ熊本)	18 点	(4試合)	4 南田 征子 (ソニー)	7 点	(2試合)
9 アントル (アラコ九州)	16 点	(4試合)	4 田中 美音子 (ソニー)	7 点	(2試合)
10 古家 雅之 (湧永製薬)	15 点	(4試合)	4 菅谷 美奈 (HC 名古屋)	7 点	(2試合)
10 ストックラン (ホンダ)	15 点	(4試合)	11 藤長 靖子 (オムロン)	6 点	(2試合)
10 岩本 真典 (大崎電気)	15 点	(4試合)	11 山田 早織 (ソニー)	6 点	(2試合)
13 辻 昇一 (大崎電気)	14 点	(4試合)	11 羽出重 真紀 (HC 名古屋)	6 点	(2試合)
13 松林 克明 (大同特殊鋼)	14 点	(4試合)	14 青戸 あかね (メイブルレッズ)	5 点	(1試合)
13 中谷 友和 (大同特殊鋼)	14 点	(4試合)	14 河本 千寿子 (メイブルレッズ)	5 点	(1試合)
			14 加治木 晓美 (HC 名古屋)	5 点	(2試合)
			14 佐久川ひとみ (オムロン)	5 点	(2試合)

フィールド得点賞

1 中川 善雄 (大崎電気)	20 点	(4試合)	1 坂元 智子 (オムロン)	8 点	(2試合)
1 角谷 裕司 (トヨタ車体)	20 点	(4試合)	2 小野澤 香理 (北国銀行)	7 点	(1試合)
1 田中 慎一 (アラコ九州)	20 点	(4試合)	2 吳 成玉 (メイブルレッズ)	7 点	(1試合)
4 クジノフ (ホンダ熊本)	17 点	(4試合)	2 劉 晋淑 (オムロン)	7 点	(2試合)
5 植木 宏和 (アラコ九州)	16 点	(4試合)	2 菅谷 美枝 (HC 名古屋)	7 点	(2試合)
6 古家 雅之 (湧永製薬)	15 点	(4試合)	2 田中 美音子 (ソニー)	7 点	(2試合)
6 ストックラン (ホンダ)	15 点	(4試合)	7 藤長 靖子 (オムロン)	6 点	(2試合)
6 プラマニス (湧永製薬)	15 点	(4試合)	7 山田 早織 (ソニー)	6 点	(2試合)
6 アントル (アラコ九州)	15 点	(4試合)	7 羽出重 真紀 (HC 名古屋)	6 点	(2試合)
10 辻 昇一 (大崎電気)	14 点	(4試合)	7 南田 征子 (ソニー)	6 点	(2試合)
10 松林 克明 (大同特殊鋼)	14 点	(4試合)	7 富田 有美 (オムロン)	6 点	(2試合)
10 中谷 友和 (大同特殊鋼)	14 点	(4試合)			
10 クリチェンコ (ホンダ)	14 点	(4試合)			
10 朴 性立 (大同特殊鋼)	14 点	(4試合)			
10 岩本 真典 (大崎電気)	14 点	(4試合)			

シユート率賞 (フィールド得点上位10人を対象)

1 辻 昇一 (大崎電気)	14点 / 20射	0.700	1 小野澤 香理 (北国銀行)	7点 / 9射	0.778
2 古家 雅之 (湧永製薬)	15点 / 23射	0.652	2 坂元 智子 (オムロン)	8点 / 12射	0.667
3 松林 克明 (大同特殊鋼)	14点 / 24射	0.583	2 藤長 靖子 (オムロン)	6点 / 9射	0.667
4 植木 宏和 (アラコ九州)	16点 / 28射	0.571	2 山田 早織 (ソニー)	6点 / 9射	0.667
5 中川 善雄 (大崎電気)	20点 / 37射	0.541	5 羽出重 真紀 (HC 名古屋)	6点 / 11射	0.545

7mT得点賞

1 クリチェンコ (ホンダ)	14 点	(4試合)	1 富田 有美 (オムロン)	7 点	(2試合)
2 プラマニス (湧永製薬)	10 点	(4試合)	2 村上 麻美 (北国銀行)	5 点	(1試合)
3 大田 修一 (大同特殊鋼)	8 点	(4試合)	2 青戸 あかね (メイブルレッズ)	5 点	(1試合)
4 松本 博文 (ホンダ熊本)	6 点	(4試合)	4 菅谷 美奈 (HC 名古屋)	3 点	(2試合)
5 植木 宏和 (アラコ九州)	5 点	(4試合)	5 南田 征子 (ソニー)	1 点	(2試合)
5 森本 彰宏 (大崎電気)	5 点	(4試合)			

7mスロー阻止賞

1 吉田 耕平 (ホンダ熊本)	7本 / 15射	(4試合)	1 吉田 由香 (オムロン)	2本 / 4射	(2試合)
2 坪根 敏宏 (湧永製薬)	5本 / 13射	(4試合)	1 飛田 季実子 (ソニー)	2本 / 11射	(2試合)
3 濱口 靖 (大崎電気)	4本 / 10射	(4試合)	3 高森 妙子 (メイブルレッズ)	1本 / 1射	(1試合)
4 元村 東弘 (HC 東京)	2本 / 6射	(4試合)	3 宮西 慶乃 (北国銀行)	1本 / 3射	(1試合)
4 渡辺 修崇 (トヨタ車体)	2本 / 7射	(4試合)	3 安達 多華美 (HC 名古屋)	1本 / 3射	(2試合)
4 原田 仁 (大崎電気)	2本 / 9射	(4試合)	3 石川 雪絵 (HC 名古屋)	1本 / 6射	(2試合)
4 谷川 一寿 (アラコ九州)	2本 / 14射	(4試合)			

第27回日本ハンドボールリーグ成績表

第2週終了 11月4日現在

順位	1部男子	ホンダ	湧永製薬	大同特殊鋼	ホンダ熊本	大崎電気	アラコ九州	トヨタ車体	HC東京	試合数	勝分数	引分数	敗分数	勝点	総得点	総失点	差
1	ホンダ					25	35	31	32	4	4	0	0	8	123	83	40
2	湧永製薬					23	36	36	36	4	4	0	0	8	131	93	38
3	大同特殊鋼					21	31	26	29	4	3	0	1	6	107	76	31
4	ホンダ熊本					26	20	22	25	4	2	1	1	5	93	77	16
5	大崎電気	22	22	26	29					4	2	0	2	4	99	95	4
6	アラコ九州	25	30	17	20					4	0	1	3	1	92	122	-30
7	トヨタ車体	20	24	17	14					4	0	0	4	0	75	115	-40
8	HC東京	16	17	16	14					4	0	0	4	0	63	122	-59

順位	1部女子	オムロン	北国銀行	メイプルレッズ	シャトレーゼ	ソニー	HC名古屋	試合数	勝分数	引分数	敗分数	勝点	総得点	総失点	差
1	オムロン					21	24	2	2	0	0	4	45	29	16
2	北国銀行						26	1	1	0	0	2	26	17	9
3	広島メイプルレッズ					26		1	1	0	0	2	26	18	8
4	シャトレーゼ							0	0	0	0	0	0	0	0
5	ソニーセミコンダクタ九州	13		18				2	0	0	2	0	31	47	-16
6	HC名古屋	16	17					2	0	0	2	0	33	50	-17

順位	2部男子	北陸電力	インテックス21	トヨタ自動車	豊田合成	大阪ガス	トクヤマ	試合数	勝分数	引分数	敗分数	勝点	総得点	総失点	差
1	北陸電力					25	34	2	2	0	0	4	59	33	26
2	インテックス21			24			39	2	1	1	0	3	63	41	22
3	トヨタ自動車		24		29			2	1	1	0	3	53	40	13
4	豊田合成			16		18		2	1	0	1	2	34	46	-12
5	大阪ガス	16			17			2	0	0	2	0	33	43	-10
6	トクヤマ	17	17					2	0	0	2	0	34	73	-39

この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1. 対戦間勝点 2. 対戦間得失点差 3. 総得失点差 4. 総得点 の多い順で順位付けしています。